

研究室紹介 + 探索中 P2M !

兵庫県立大学 永里賢治

1. 自己紹介

今年4月から兵庫県立大学国際商経学部に着任致しました。私の専門は「ものづくり経営」で「ものづくり経営学」（国際商経学部、社会情報学部）「プロジェクトゼミナールI・II」（国際商経学部）「Overseas Language Program」（国際商経学部）「ものづくり経営」（大学院経営研究科）を担当しています。これまで企業人として29年間働き、国内の5つの大学（大学院）で学んで参りました。これからは大学にフィールドを移して、実務経験を生かした教育と研究に邁進したいと思っています。

2. 大学（兵庫県立大学）の紹介

私の所属している兵庫県立大学は、2004年に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学を統合して開設された公立の総合大学です。



図1 兵庫県立大学正門（神戸商科キャンパス）

グローバル社会で活躍できる人材を

輩出すべく、経済学部と経営学部を統廃合して、今年4月に新しく国際商経学部を開設しました。国際商経学部には下記の3つのコースがあります。

・経済学コース及び経営学コース

入学から2年前期までは、経済学と経営学の基礎を学習します。2年後期から、2コース（4プログラム）に分かれ、経済学コースには「経済理論・政策」「金融ファイナンス」経営学コースには「社会イノベーション」「マネジメント」といったプログラムが用意されています。1年後期から4年後期まで全員がゼミ（各ゼミ10名前後）に所属するために、教員との距離が近く、ひとりひとり丁寧な指導を行うのが、神戸商科大学から受け継いだ伝統（特色）となっています。また1年後期と2年前期の「プロジェクトゼミナールI・II」では、ゼミ生が社会（企業や団体）の課題解決に取り組むプロジェクトベースの学びを経験します。早い段階で課題解決型の学習を体験・学習することで、自主性や創造性、問題解決能力を身に付ける事を主眼としています。日本だけでなく、海外の企業を訪問する海外研修プロジェクトも用意されています。

・グローバルビジネスコース

公立大学では珍しく、入学から卒業まで全科目（教養科目、専門科目）を全て英語で学ぶのが大きな特徴です。入学者（約80名）の約半数が留学生で、残り

の日本人学生の中にはネイティブな帰国子女も少なくありません。海外からの留学生は秋からの入学となりますので、日本人学生は入学後すぐに海外（フィリピン）の大学で行われる語学研修（5週間）に全員で参加し、座学（半日）及びマンツーマンレッスン（半日）で英語力（英会話）をブラッシュアップします。毎日、多くの宿題が課され、また毎週末に模試（TOEIC）があり、その結果でクラス分けが行われ、成績（単位）に繋がるということもあり、学生は朝から夜までかなりハードなスケジュールで勉強することになります。1年後期から留学生と一緒に英語で専門科目を学ぶために、英語力の更なる底上げを行う必要があります。



図2 語学研修（オリエンテーション）



図3 語学研修（マンツーマンレッスン）

秋からは全員がキャンパス内に新設される国際学生寮に入居し、日本人学生

と留学生が相部屋で生活することになります。学生は文化や価値観の違いを日常生活の中で認識しながら、相互理解を深めていきます。将来グローバルな舞台で活躍する際に、こうした経験が大きな財産になると考えています。

3. 近況

現在、フィリピンで学生（グローバルビジネスコース）の語学研修を引率している所です。また後期から始まる授業の準備も進めています。「プロジェクトゼミナールI・II」では海外研修（欧州）を担当することになりました。来年3月にゼミの学生と一緒にドイツに行き、現地の企業（団体）を訪問する予定です。今年が初年度ということもあり「どの様なプログラムにしたなら、有意義な研修になるのか」「訪問先の選定」といった研修に関することや「準備期間として半年間、学生に何をやらせるか（1年後期）」「海外研修の振り返りやフォローアップは何を行うべきか（2年前期）」といった内容を考えている所です。また大学院（経営研究科、MBA）で社会人学生を対象に、毎週土曜日（3,4限）に「ものづくり経営」の授業を担当します。社会人学生は問題意識が明確で、教員に対する要求レベルも高いので、授業の組み立てや内容、進め方について（学生と共に）考えている最中です。授業以外では8月のオープンキャンパス（実行委員）や世界各地から留学生に入学して貰うための活動（WG委員）、高校での模擬授業（9～12月）などもあり、毎日が充実している反面、なかなか「自分の研究をじっくり行う」といった所に行き着いていないのが現状であります。

4. P2M (プロジェクトプログラムマネジメント)

私自身、社会人大学院生だった時に、東京農工大学大学院で小原先生(元会長)と亀山先生(副会長)からP2M(プロジェクトプログラムマネジメント)に関する講義を拝聴させて頂き、毎回とても感銘を受けたのを覚えております。P2Mは優れたマネジメント手法であると同時に適用範囲や応用分野が広く、大変有用な手法であることが分かったからです。教員1年目となった今、色々な課題を時間内に解決していく必要があります、当にP2Mの手法を用いたマネジメントを実践してみようと思っています。P2Mに関してはまだまだ初学者の域を出ませんが、有用かつ優れたマネジメント手法であるP2Mを理解して貰うべく、これから本学の学生にも教えていきたいと考えています。

5. 連絡先

大学のキャンパスは神戸市西区の学園都市という所にあります。神戸空港

からモノレールと地下鉄で約1時間、新神戸駅からは地下鉄で約30分です。学園都市駅には4つの大学と2つの専門学校があり、いつも学生で賑わっています。兵庫県立大学のキャンパス内は緑豊かで、建物もモダンな雰囲気があり、敷地もゆったりとしています。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

<連絡先>

兵庫県立大学 (神戸商科キャンパス)
国際商経学部 研究棟I (209号室)
永里賢治
(nagasato@em.u-hyogo.ac.jp)



図4 兵庫県立大学 (神戸商科キャンパス)

2019年7月1日受理